

## ひろしまイノベーション推進機構の概要及び投資先企業の状況について

〔令和2年4月17日〕  
商工労働局

### 1 ひろしまイノベーション推進機構の概要

株式会社ひろしまイノベーション推進機構は、県が示した投資原則に沿って、広島を中心とする経済圏で事業活動を行い、新たなアイデアでモノや情報、仕組などを組み合わせることにより、新たな価値を創造していくイノベーションを通じて、新たな成長を目指す企業等を対象に、資金、経営ノウハウ等必要な経営資源を提供することにより、企業の成長を支援し、新たな雇用の創出や所得の拡大等広島県経済の発展に資することを目的としている。

#### (1) 概要

所在地	広島県広島市中区袋町3番17号
設立日	平成23年5月24日
資本金	5,000万円 [資本準備金5,000万円] (県100%出資)
代表者	代表取締役社長 熊谷 賢一
管理運用する 投資事業組合	1号組合 (平成23年6月17日組成, 40億5,500万円) ※うち県出資40億円 2号組合 (平成24年1月1日組成, 65億2,000万円) 計105億7,500万円
	ふるさと連携応援ファンド(3号組合) (令和2年1月1日組成, 73億円) ※県は出資しない

#### (2) 財務状況

[損益計算書等]

(単位:千円)

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
売上高	286,807	228,797	125,851
売上原価	7,530	0	3,724
販売費・一般管理費	206,038	202,329	227,654
営業損益	73,238	26,468	△105,527
営業外収益	318	300	1,530
営業外費用	0	176	1
経常損益	73,557	26,592	△103,998
特別利益	0	0	0
特別損失	0	0	0
税金等調整前当期純損益	73,557	26,592	△103,998
法人税等	23,677	5,479	1,887
法人税等調整額	△1,555	2,129	△35,814
当期純損益	51,436	18,984	△70,070
役職員数(人)	11	11	13

[貸借対照表]

(単位：千円)

		平成28年度	平成29年度	平成30年度
資産の部	流動資産	369,460	317,754	237,855
	固定資産	17,630	25,866	58,326
	繰延資産	0	0	0
	合計	387,091	343,620	296,181
負債及び純資産の部	流動負債	108,466	45,913	68,456
	固定負債	305	404	491
	資本金	50,000	50,000	50,000
	剰余金等	228,319	247,303	177,232
	評価・換算差額等	0	0	0
	合計	387,091	343,620	296,181

[キャッシュフロー計算書]

(単位：千円)

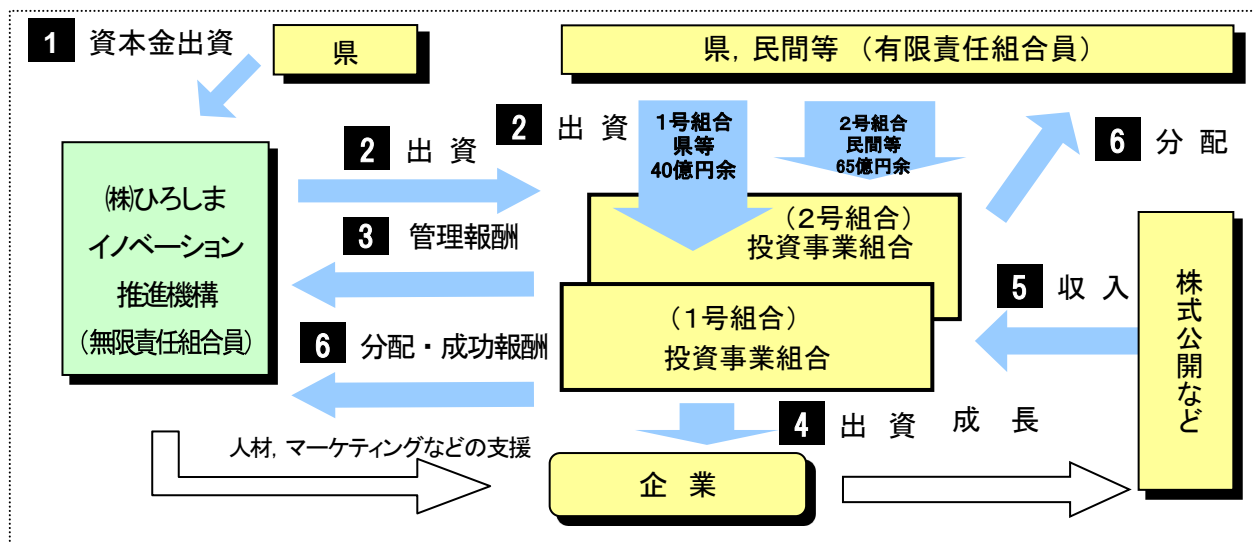
	平成28年度	平成29年度	平成30年度
営業活動によるキャッシュフロー	85,910	△36,442	△90,172
投資活動によるキャッシュフロー	267	0	△562
財務活動によるキャッシュフロー	0	0	0
現金及び現金同等物の期末残高	345,662	309,220	218,485

## 2 投資事業組合の状況（1号組合・2号組合）

### (1) 概要

名 称	ひろしまイノベーション推進 第1号投資事業有限責任組合	ひろしまイノベーション推進 第2号投資事業有限責任組合
設 立 日	平成23年6月17日	平成24年1月1日
出資総額	40億5,500万円	65億2,000万円
存続期間	令和5年12月末まで	令和3年12月末まで ただし、最長2年延長可
出 資 者	[有限責任組合員] 広島県 フェニックス・キャピタル(株)  [無限責任組合員] (株)ひろしまイノベーション推進機構	[有限責任組合員] (株)みずほ銀行 (株)広島銀行 フェニックス・キャピタル(株) (株)もみじ銀行 (株)三井住友銀行 広島信用金庫 NECキャピタルソリューション(株) 広島市信用組合 (独)中小企業基盤整備機構 呉信用金庫 広島県信用組合 [無限責任組合員] 中国電力(株) (株)ひろしまイノベーション推進機構 (株)中電工 マツダ(株)
運営会社	(株)ひろしまイノベーション推進機構 ※2組合合計105億7,500万円を一体的・並行的に管理運用	

(2) スキーム図



(3) 投資実績 (令和2年4月17日時点)

	投資先企業名	投資決定額	投資実行額	株式譲渡額
①	オー・エイチ・ティー株式会社 (福山市神辺町)	約 10 億円 (H24. 4. 9 公表)	同左	約 27 億円 (H28. 3. 23 公表)
②	株式会社サンエー (三次市南畑敷町)	約 10 億円 (当初5億円H25. 4. 26公表) (追加5億円H26. 7. 9公表)	同左	約 11 億円 (H27. 8. 26 公表)
③	アイサービス株式会社 (尾道市美ノ郷町)	約 3 億円 (H26. 7. 9 公表)	同左	約 4 億円 (H30. 10. 2 公表)
④	株式会社ツーセル (広島市南区)	約 8 億円※ (H26. 11. 20 公表)	同左	— (支援中)
⑤	株式会社なかやま牧場 (福山市駅家町)	約 7 億円 (当初4億円H27. 8. 20公表) (追加3億円H28. 10. 25公表)	同左	一部を譲渡 約 5 億円 (H30. 10. 2 公表) (支援中)
⑥	ルーチェサーチ株式会社 (広島市安佐南区)	約 5 億円※ (H29. 9. 14 公表)	約 2 億円	約 2.3 億円 (R2. 10. 18 公表)
⑦	株式会社ビーシー・イングス (広島市安佐北区)	約 12 億円※ (H29. 10. 30 公表)	約 9 億円	— (支援中)
	合計	約 55 億円	約 49 億円	約 47 億円

※ 事業の進捗に応じて段階的に投資実行。

(4) 株式譲渡等に伴う県への出資金償還額

2, 8 5 6, 7 8 4, 2 3 5 円 (令和2年4月17日現在)

### 3 投資先企業（支援中）の状況等（1号組合・2号組合）

(1) 投資先企業（支援中）一覧（令和2年4月17日時点）

	投資先企業	事業内容	投資決定額
①	株式会社ツーセル (広島市南区)	医療用の遺伝子・細胞, 医薬品, 診断薬, 試薬, 医療材料の研究・開発・製造・販売等	約8億円
②	株式会社なかやま牧場 (福山市駅家町)	肉牛の肥育, 食肉加工, 総合食品スーパーの一貫経営	約7億円
③	株式会社ビーシー・インクス (広島市安佐北区)	学習塾「田中学習会」及び東進衛星予備校の運営等	約12億円

(2) 投資先企業（支援中）の状況（令和2年4月17日時点）

① 株式会社ツーセル

i 企業概要（現況）

代表者	代表取締役社長 辻 紘一郎（つじ こういちろう）
所在地	広島市南区比治山本町16番35号
設立	平成15年4月23日
資本金	21億6,000万円
従業員数	58名 [平成31年3月末現在]
事業内容	大学の技術シーズを活用した、医療用の遺伝子・細胞、医薬品、診断薬、試薬、医療材料の研究開発・製造・販売、医療機器・医療用具の研究開発・製造・販売等

ii 投資の状況

[決定状況]

	決定額	備考
平成26年11月18日	最大約8億円	事業の進捗に応じて段階的に実行

[実行状況]

	摘要	投資額
平成26年12月11日	第三者割当増資の引受	1.55億円
平成28年 5月26日	新株予約権の権利行使	1.55億円
平成29年 7月 6日	新株予約権の権利行使	3.10億円
平成30年 9月 5日	新株予約権の権利行使	1.55億円
合 計		7.75億円※

※ 別途、投資に伴う費用（財務・法務等調査費等）を支出。

iii 機構による支援の状況

- これまで、ガバナンス・経営管理体制の強化に資するよう、機構から社外取締役1名を派遣し、経営をモニタリングするとともに、事業戦略の実行支援、体制強化に伴う社内ルール等経営基盤の整備、経営管理体制の強化等、上場に向けた総合的な支援を実施してきた。
- また、機構の新株予約権の行使による資金支援に加え、機構が運用する投資事業有限責任組合の出資者を始めとするネットワークを活用した資金調達等の資本政策支援も実施してきた。
- これらの取組により、株式上場に向けた準備として、令和元年6月28日に、機構からの社外取締役1名の派遣を終了した。

iv 経営の状況

- 軟骨再生医療事業については、平成28年4月に、開発中の膝軟骨再生細胞治療製品「gMSC<sup>®</sup>1」に関して中外製薬株式会社（以下「中外製薬」）とライセンス契約を締結したほか、平成29年5月に治験実施の申請が受理され、11月から

治験が開始されている。

- 中外製薬との契約により、今後数年にわたって合計で十数億円規模のライセンス収入が得られることに加え、今後の臨床開発は同社と協働して進められることとなっており、「gMSC®1」の早期の製品化に向けた取組は、順調に進んでいる。
- また、第2、第3の製品候補を構築するため、脳梗塞細胞治療製品及び注射型軟骨再生細胞治療製品について大学と共同研究を開始したほか、平成29年5月には、間葉系幹細胞を用いた脳梗塞治療等の研究開発について、大手製薬企業である大塚製薬株式会社と提携するとともに、同社から約3億円の出資を受けた。
- さらに、平成30年6月には、Meiji Seika ファルマ株式会社（本社：東京都中央区）との間で、変形性関節症治療用細胞医薬品に関する共同研究契約を締結しており新規の細胞医薬品の創出を目指し、最適な方法を検討することとしている。
- 「gMSC®1」の治験が順調に進んだことから、平成30年9月5日付で、機構から第4回目となる1億5,500万円の追加出資を受けた（平成26年11月18日の投資決定に基づく追加出資）。これにより、機構は同社に対して予定していた全ての出資を完了した。
- 同社が進める「gMSC®1」の治験は順調に行われており、また、前期には17.5億円の増資を行うなど上場に向けた経営体制の整備を進めている。

v 財務の状況

[売上高及び損益等]

(単位：千円, 千円未満切捨)

	平成 29 年 3 月期 (第 14 期)	平成 30 年 3 月期 (第 15 期)	平成 31 年 3 月期 (第 16 期)
売上高	806, 446	1, 305, 565	11, 875
経常利益又は 経常損失	161, 911	61, 037	△1, 123, 488
当期純利益又は 当期純損失	153, 867	41, 666	△1, 132, 703
従業員数 (人)	38	48	58

[貸借対照表の要旨]

(単位：千円, 千円未満切捨)

		平成 29 年 3 月期 (第 14 期)	平成 30 年 3 月期 (第 15 期)	平成 31 年 3 月期 (第 16 期)
資産 の 部	流動資産	625, 127	1, 430, 309	672, 314
	固定資産	37, 607	39, 752	41, 230
	合 計	662, 735	1, 470, 062	713, 545
負債 及 び 純 資 産 の 部	流動負債	246, 086	382, 419	372, 224
	固定負債	30, 417	61, 108	42, 490
	株主資本	386, 231	1, 026, 533	298, 830
	資本金	752, 500	1, 082, 500	1, 285, 000
	資本剰余金	742, 500	1, 072, 500	1, 275, 000
	資本準備金	742, 500	1, 072, 500	1, 275, 000
	利益剰余金	△1, 108, 768	△1, 128, 466	△2, 261, 169
	繰越利益剰余金	△1, 108, 768	△1, 128, 466	△2, 261, 169
合 計	662, 735	1, 470, 062	713, 545	

[売上高]

- ・ 提携先企業からのライセンス収入がなかったこと等によって、平成 31 年 3 月期の売上高は、平成 30 年 3 月期の約 13 億円から、約 1,100 万円に減少した。

[当期純損益]

- ・ 引き続き、治験や研究開発を進めたことなどにより、当期純損失として約 11 億 3,000 万円を計上している。

[資本金]

- ・ 財務体質の強化に向け、同社は、平成 31 年 3 月期終了後の令和元年 5 月 10 日、7 月 12 日、11 月 20 日に増資を行い、現在、資本金の額は 21 億 6,000 万円となっている。

② 株式会社なかやま牧場

i 企業概要（現況）

代表者	代表取締役社長 増成 幸子（ますなり さちこ）
所在地	福山市駅家町法成寺1575-16
設立	昭和45年11月6日
資本金	5,000万円
従業員数	746名 [令和元年10月末現在]
事業内容	肉牛の肥育，食肉加工，総合食品スーパーの一貫経営

ii 投資の状況

	摘要	投資額
平成27年8月31日	第三者割当増資・劣後社債の引受	約4億円
平成28年10月28日	劣後社債の引受・株式取得	約3億円
合計		約7億円※

※ 別途、投資に伴う費用（財務・法務等調査費等）を支出。

ii 株式譲渡等の状況

	摘要	譲渡等の額
平成30年10月1日	株式の一部譲渡及び社債の一部償還	約5億円※ (投資額約2億円に対して)

※ 別途、譲渡等に伴う費用（財務・法務等調査費等）を支出。

iii 機構による支援の状況

- ・ 社外取締役2名を派遣して経営をモニタリングしつつ、成長に向けた財務体質の改善，経営管理体制の強化，経営承継に向けた支援等，総合的な支援を実施している。

iv 経営の状況

- ・ 令和元年10月期は，新規店舗の開店が売上増に寄与したものの，新規店舗のオープン経費や既存店舗のリニューアル工事の影響等により，会社全体では平成30年10月期と比べて増収減益となった。
- ・ しかし，新規店舗の売上が好調であることに加え，経営体質も改善されていること等により，業績は今後も順調に推移すると思われる。
- ・ なお，決算後の令和元年11月には福山市内の新徳田店がリニューアルオープンしたほか，本年1月には倉敷市で2店舗目となる水島神田店がオープンしており，令和2年10月期の売上増に寄与する見込みである。



v 財務の状況

[売上高及び損益等]

(単位：千円, 千円未満切捨)

	平成 29 年 10 月期 (第 47 期)	平成 30 年 10 月期 (第 48 期)	令和元年 10 月期 (第 49 期)
売上高	14,869,676	15,533,704	16,043,090
経常利益又は 経常損失	471,492	443,928	291,251
当期純利益又は 当期純損失	320,110	318,115	172,849
従業員数 (人)	693	686	746

[貸借対照表の要旨]

(単位：千円, 千円未満切捨)

		平成 29 年 10 月期 (第 47 期)	平成 30 年 10 月期 (第 48 期)	令和元年 10 月期 (第 49 期)
資産の部	流動資産	5,474,416	5,376,556	5,700,273
	固定資産	4,057,549	4,144,410	4,956,630
	繰延資産	4,984	6,338	11,700
	合 計	9,536,950	9,527,305	10,668,603
負債及び純資産の部	流動負債	3,431,792	3,352,301	3,821,361
	固定負債	1,757,125	1,858,095	2,366,414
	株主資本	4,348,033	4,316,909	4,480,828
	資本金	50,000	50,000	50,000
	資本剰余金	31,000	31,000	31,000
	資本準備金	31,000	31,000	31,000
	利益剰余金	4,567,950	4,877,136	5,041,055
	利益準備金	10,714	10,714	10,714
	その他利益剰余金	4,557,236	4,866,422	5,030,341
	自己株式	△300,916	△641,226	△641,226
合 計	9,536,950	9,527,305	10,668,603	

[売上高]

- 令和元年10月期の売上高は、平成31年4月に新規開店した店舗が売上増に寄与したことや、肉牛の出荷・販売頭数の増加などにより、前期から約5億1千万円増額となる160億円余を計上している。

[当期純損益]

- 令和元年10月期の損益は、新規開店した店舗のオープン経費などにより、前期から約1億5,000万円減の1億7,000万円余の純利益を計上している。

③ 株式会社ビーシー・イングス

i 企業概要（現況）

代 表 者	代表取締役会長 田中 弘樹（たなか ひろき） 代表取締役社長 川隅 学（かわすみ まなぶ）
所 在 地	広島市安佐北区倉掛 1-8-16
設 立	平成2年7月
資 本 金	9,000万円
従業員数	1,097名（うち正社員254名）[令和元年11月末現在]
事業内容	学習塾「田中学習会」及び東進衛星予備校の運営等

ii 投資の状況

	摘要	投資額
平成29年11月8日	第三者割当増資・一部株式取得	約9億円※

※ 別途、投資に伴う費用（財務・法務等調査費等）を支出。

iii 機構による支援の状況

- ・ 社外取締役1名を派遣して経営をモニタリングしつつ、経営管理体制の構築支援や出校戦略及びマーケティング戦略の策定支援を引き続き行っている。

iv 経営の状況

- ・ 令和元年11月決算においては、のれんの減損や人件費の増加等により減益となっているが、令和2年11月期は増収・増益を見込んでおり、経営に問題はないものと考えている。
- ・ また、講師の高い質を確保する仕組みの構築などにより、継続的に新規開校するなど事業規模の拡大を図るとともに、AIを導入した個別指導教室の拡充や、プログラミング授業の導入など新たな取組も行っており、業績は今後も順調に推移すると思われる。

v 財務の状況

[売上高及び損益等]

(単位：千円, 千円未満切捨)

	平成 29 年 11 月期 (第 2 期)	平成 30 年 11 月期 (第 3 期)	令和元年 11 月期 (第 4 期) <sup>*</sup>
売上高	3,693,661	3,974,383	3,761,896
経常利益又は 経常損失	119,845	304,620	- <sup>**</sup>
当期純利益又は 当期純損失	23,485	124,464	△227,810
従業員数 (人)	1,054	1,073	1,094

○貸借対照表の要旨

(単位：千円, 千円未満切捨)

		平成 29 年 11 月期 (第 2 期)	平成 30 年 11 月期 (第 3 期)	令和元年 11 月期 (第 4 期)
資産 の 部	流動資産	545,236	828,671	564,220
	固定資産	3,953,636	3,623,704	3,089,895 <sup>**</sup>
	繰延資産	2,765	1,935	- <sup>**</sup>
	合 計	4,501,637	4,454,311	3,654,116
負債 及 び 純 資 産 の 部	流動負債	984,544	1,167,890	1,336,050
	固定負債	2,431,820	2,076,683	1,682,250 <sup>**</sup>
	株主資本	1,085,272	1,209,738	635,815
	資本金	140,010	90,000	90,000
	資本剰余金	1,136,480	1,186,490	1,186,490
	資本準備金	1,136,480	1,186,490	1,186,490
	利益剰余金	△191,217	△66,752	△645,690
	利益準備金	0	0	0
	その他利益剰余金	△191,217	△66,752	△645,690
	その他の資本の構成要素	0	0	635,815
合 計	4,501,637	4,454,311	3,654,116	

<sup>\*</sup> 平成30年12月に子会社「株式会社ビーシー・スフィード」を設立しており、令和元年11月期から、連結決算となっている。

<sup>\*\*</sup> 令和元年11月期からは国際会計基準(IFRS)に準拠した決算方式としている。このため、同基準において項目がない経常利益の欄は非表示としている。また、固定資産の欄には非流動資産を記載しており、繰延資産の計上はない。同じく、固定負債の欄には非流動負債を記載している。

[売上高及び当期純損益]

- 令和元年11月期の(株)ビーシー・インクスは、会計基準変更の影響により売上高は前期比2億1,000千万円余減の37億6,000万円余となった。また、のれんの減損計上や、人件費等の増により、2億2,000万円余の最終赤字となっている。

#### 4 投資事業組合の状況（3号組合）

##### （1）概要

名 称	ふるさと連携応援ファンド投資事業有限責任組合
設 立 日	令和2年1月1日
出資総額	73億円※
存続期間	令和11年12月末まで ただし、最長2年延長可
出 資 者	[有限責任組合員] 株式会社広島銀行，株式会社もみじ銀行，広島信用金庫，広島市信用組合， 呉信用金庫，広島県信用組合，中国電力株式会社，株式会社中電工， 広島ガス株式会社，マツダ株式会社，リョービ株式会社，田中電機工業株式会社， 広島県信用保証協会，株式会社新生銀行，株式会社ゆうちょ銀行， 株式会社三井住友銀行，株式会社山陰合同銀行， 独立行政法人中小企業基盤整備機構  [無限責任組合員] (株)ひろしまイノベーション推進機構
運営会社	(株)ひろしまイノベーション推進機構
投資対象	広島を中心とする経済圏において事業活動を行っている企業，今後行う企 業及び当該経済圏の企業と提携するなど広島を中心とする地域経済の発 展への寄与が期待できる企業
想定ニーズ	事業承継及び成長投資，大企業のカーブアウト，非公開化 など

※ 最長令和2年12月31日まで追加出資募集予定（上限100億円）。